

松阪商工会議所 経営発達支援計画 令和元年度目標及び実績

実施期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
計画の目標	小規模事業者の経営力向上及び創業促進を図るため、行政、地域の金融機関及び近隣商工会、コミュニティビジネスを手掛けるNPO団体や各種専門家、関係団体等と連携することにより、総合的な経営相談ができる支援機関として小規模事業者に対する伴走型の支援を行う。また、小規模事業者の売上向上・利益確保・需要拡大を図り、持続的発展を支援することにより廃業者数を減少させる。それと同時に市内の創業者を増加させ、さらには賑わいを創出し地域経済の活性化に繋げる事を目標とする。

松阪商工会議所では、令和元年度、上記目標を達成すべく経営発達支援計画に基づき下記事業に取り組んだ。

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること

(取組み)

松阪地域内の景気動向を調査し、地域内全体及び業種別に整理・分析を行うことで、経済環境や課題を把握する。また、収集した調査結果・課題及び他機関の景気動向調査を基に、小規模事業者の支援ニーズを捉え、経営分析を行った上で経営計画策定や販路開拓などに関する助言・指導に役立てる。加えて、巡回及び窓口相談時や当所会報誌・ホームページ等で小規模事業者に広く提供する。

(目標及び実績)

支援内容	令和元年度		評価
	目標	実績	
景気動向調査実施回数	2	2	○
公表頻度(回数)	4	4	○
情報提供事業者数(※)	300	310 (358)	○

※ホームページ及び会報誌での情報提供数は除く。

2. 経営状況の分析に関すること

(取組み)

「顔の見える商工会議所」を合言葉に、5年間で当所管内の全小規模事業者に対して巡回を実施し、経営課題の克服を希望する「やる気ある小規模事業者」の掘り起こしを行う。加えて、記帳継続指導先及び過去3年間の創業者・融資支援先等を対象にした相談業務を通じ、同様に掘り起こしを行う。それらの小規模事業者に対しては、経営資源等の現状を丁寧にヒアリングし経営分析を行った上で気づきを与え、自社の強みを把握させる。

また、決算書や試算表を基に財務分析を行い、財務上の課題を見える化する。適宜、指導員による報告会を開催し、担当事業所の分析結果を報告すると共に、効果的な支援に向け支援内容を協議する。その上で、事業者に対し分析結果及び取り組む課題をフィードバックすると共に売上向上及び利益確保を旨とした事業計画の作成を推進する。

(目標及び実績)

支援内容	令和元年度		評価
	目標	実績	
経営分析件数	95	98	○
内 巡回	10	0	×
記帳継続指導先	20	31	○
過去3年創業者	5	5	○
融資斡旋先	30	30	○
その他相談業務 ※持続化補助金申請支援先等	30	32	○

3. 事業計画策定支援に関すること

(取組み)

経営計画の作成が必要なやる気のある事業者の掘り起しを行った上で、関係支援機関や専門家と連携し、小規模事業者の事業計画策定支援を行う。さらに、創業者に対しては「松阪商人サポート隊」を中心とした創業計画策定支援を行う。

(目標及び実績)

支援内容	令和元年度		評価
	目標	実績	
経営計画作成セミナー 参加者数	120	11 (11)	△
個別相談会参加者数	65	7	△
事業計画策定事業者数	70	104	○
三重県版経営向上計画	10	8	△
うち認定数	8	8	○
創業計画	20	14	△
うち創業者数	10	10	○
持続化補助金他	40	82	○
うち採択者数	18	62	○
小規模事業者経営発達支援融資制度推薦事業者数	5	0	×

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

(取組み)

小規模事業者が策定した事業計画及び創業者・第二創業者が策定した創業計画について、原則として、計画策定後半年ごとに巡回又は連絡を取り「事業計画進捗確認書」を用いた進捗状況の確認を行う。さらに、進捗状況に応じ、事業の実施に関し必要な伴走型の指導及び助言を行う。また、年に1度、事業計画の検証と見直しを行い、必要であれば、取組方法を修正し、「計画達成＝利益の確保」に繋げる。一方、「小規模事業者経営発達支援融資制度」を利用した事業者に対しても同様の支援を行う。加えて、持続化補助金等の補助金申請に関連する計画については、「事業完了報告書」の提出まで支援する。

(目標及び実績)

支援内容	令和元年度		評価
	目標	実績	
事業計画進捗確認件数	75	89	○

5. 需要動向調査に関すること

(取組み)

小規模事業者が新商品や新サービスの開発を進める場合、プロダクトアウトの発想になりがちであることから「売れる商品づくり」に必要なマーケットイン発想には、適切な需要動向の把握が必要であり、そのために必要な情報を収集するための調査を行う。具体的にはインターネットを活用し、新商品・新サービスを提供する小規模事業者の商品・サービスの「需要動向調査」を消費者に対して実施し、需要動向に関する情報の収集を図る。収集した情報については整理・分析を行い各種統計調査の情報と合わせて小規模事業者に提供し、需要を見据えた事業計画の策定に役立てる。また需要動向調査の実施、結果の分析においては必要に応じ他の支援機関(各種専門家・市内金融機関等)と連携すると共に将来の需要動向を踏まえた助言・指導を行う。

(目標及び実績)

支援内容	令和元年度		評価
	目標	実績	
需要動向調査結果提供件数	50	1	△

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

(取組み)

地域における消費者需要を拡大し、賑わいを創出するため、街バル・まちゼミ事業を実施する。また、個店の認知度・売上向上を図るため、観光客及び地域住民へのPRを目的としたマップ等の販促物を作成する。広域的な販路を開拓するため、中京圏・関西圏をはじめとする展示会の開催周知、出展案内を行うほか、出展事業所に対しての事前勉強会、出展費用補助、出展後のフォローを行う。また、大阪商工会議所が事務局である「ザ・ビジネスモール」の活用促進等を行い、IT活用による新たな取引先の発掘支援を行う。一方、地域内での販路を開拓するため、当所会報誌「ベルまつさか」(毎月発行)及び地域メディア「松阪ケーブルテレビ」を活用した広報支援を行う。また、販路開拓支援セミナーを実施することで、販路拡大に関するノウハウの提供を行う。

(目標及び実績)

支援内容	令和元年度		評価
	目標	実績	
グル天参加店舗数	60	33 (59)	△
グル天チケット販売数	1,100	1,691	○
販促物(マップ等)への掲載店舗数	30	0 (0)	×
まちゼミの参加事業所数(延数)	44	26 (35)	△
まちゼミの参加者数(延数) ※全2回中1回開催	510	454	△
展示会等への参加支援事業者数(延数)	7	9	○
会員優待サービス券掲載事業者数(延数)	365	215 (310)	△
ケーブルテレビでの紹介事業者数	15	15 (18)	○
販路開拓支援セミナーの参加事業者数	60	12 (34)	△
新商品・新サービス合同プレス発表会(マスコミ掲載数)	12	0	×

※グル天・・・グルメ天国まつさかの略

※ケーブルテレビでの紹介事業者は、3事業者×5回/年の固定である。

7. 計画全体に関すること

支援内容	令和元年度		評価
	目標	実績	
巡回訪問件数	1,450	1,553 (1,794)	○
専門家派遣制度 専門家派遣先数(事業者数)	—	39 (51)	—

Ⅱ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

実施する事業	令和元年度
金融機関主催の研修会及び当所主催の研修会への相互参加	参加なし
指導員等連絡協議会の開催	令和2年1月29日に開催し、18名参加
経営指導員等ネットワーク会議への参加	開催なし
日本政策金融公庫が主催する「小規模事業者経営改善資金貸付推薦団体連絡協議会」への参加	7/2、10/30
三重県が主催する「商工会議所専門スタッフ研修会」及び「補助員研修」への参加	連合会主催の専門スタッフ研修への参加 4/26、5/9、6/11、6/28、9/3、9/20、11/12、11/28
三重県が主催する「中南勢みえ中小企業・小規模企業振興推進協議会」への参加	参加なし

2. 経営指導員等の資質向上に関すること

実施する事業	令和元年度
三重県商工会議所連合会や中小機構が主催する研修会への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・連合会主催の専門スタッフ研修への参加 4/26、5/9、6/11、6/28、9/3、9/20、11/12、11/28 ・中小機構主催の研修への参加 税務、財務研修(基礎Ⅰ) 9/2～6、9/9～13、9/30～10/4、10/7～11 税務、財務研修(基礎Ⅱ) 11/25～29、12/2～6、12/9～13、12/16～20 ビジネスプラン策定の実践術 12/18～20
地域の金融機関が主催するセミナー等への参加	参加なし
専門家派遣への随行	<ul style="list-style-type: none"> 県制度・独自枠・・・30回(18事業所) 当所伴走型事業・・・7回(3事業所) 市委託事業での創業・第二創業・・・28回(14事業所) ミラサポ・・・40回(16事業所)
検定・資格の取得	

3. 組織内での共有体制

実施する事業	令和元年度
会員管理システムへのカルテ入力	3,674
経営指導員勉強会の実施	12回開催
研修参加者による報告書作成及び勉強会での報告	3回
指導マニュアルの作成	未作成